

2月臨時市長記者会見案件（9日開催）

- ・令和6年度当初予算案の概要について

（財政課）

〈添付資料〉

- ・令和6年度 山形市当初予算案の特長

（財政課）

〈資料のみ〉

- ・なし

次 回 2月定例記者会見
次々回 3月定例記者会見

2月13日（火）14：00から
3月21日（木）11：00から

持続可能なまちづくりを推進するため、下記の事業を中心に取り組む。

1 日常生活を支える地域公共交通の充実

・新駅の検討【拡充】	16,656千円
JR奥羽本線山形駅と蔵王駅間における候補地等の調査を行う。	
・コミュニティバス等の運行	67,990千円
・地域公共交通計画の推進	23,152千円
やまがたMaaS「らくのる」のサービス提供や、コミュニティサイクルの運営を行う。また、3地区において、新たな公共交通の導入に向けた実証運行等に取り組む。	
・高齢者移動支援サービスの検討【拡充】	2,548千円
AIを活用した相乗りマッチングのシステムを導入し、タクシーを活用したモデル事業を実施する。	

2 デジタルを活用した子育て・教育・医療等の最適化

・小中学校への電子黒板の整備【拡充】	313,429千円
電子黒板を、普通教室には100%、特別教室には、 東北の政令・中核市で初めて 音楽室・技術室・図工室に1台ずつ導入し、双方向型の授業や教職員の働き方改革を推進する。	
・統合型校務支援システムの整備【拡充】	78,924千円
統合型校務支援システムに、児童生徒の心の健康観察機能や保護者との連絡機能等を 東北では初めて 導入する。	
・ひきこもり生活者の支援【拡充】	18,634千円
孤独・孤立の悩みを抱える方に対して、AIと専門職によるハイブリッド型チャット相談「つながりよりそいチャット」を 全国に先駆けて 実施する。	
・救急医療情報共有システムの導入【新規】	24,345千円
傷病者の情報を、救急隊と受入先医療機関で共有するシステムを導入し、搬送時間の短縮を図る。また、将来においては、山形連携中枢都市圏内各消防本部への利用拡大を目指し、広域利用を推進する。	

3 良質な産業と雇用の創出

・山形北インター産業団地の開発【拡充】	248,089千円
令和8年度の方譲に向け、造成工事を継続するとともに、戦略的な企業誘致活動を開始する。	
・済生館及び旧大沼周辺の再開発検討【拡充】	30,197千円
済生館と旧大沼の周辺エリアについて、再開発の構想や整備する施設の概略などの基本構想を策定する。	
・日本一の観光案内所検討【拡充】	33,444千円
慶應義塾大学SFC研究所及びJR東日本と共同で設立した共創ラボにおいて、観光情報の発信や観光交流拠点づくりについて検討を行い、日本一の観光案内所の基本構想を策定する。	
・旧千歳館エリア・リノベーション【拡充】	56,335千円
旧千歳館の建物を改修する実施設計を行う。また、やまがた舞子を活用したイベントの開催等により魅力を発信する。	
・粋七エリアの整備	839,829千円
中心市街地である七日町地区において、「粋な町七日町」通称「粋七」をコンセプトに街区整備に取り組む。	

4 脱炭素社会形成の促進

・各種補助事業の新規実施	87,393千円
脱炭素化に貢献する再エネ・省エネ機器等の導入に対して新たに補助を行う。	
・非FIT型太陽光発電設備導入補助【新規】	44,142千円
・省エネ高効率設備導入補助【新規】	38,998千円
・建築物遮熱・断熱対策補助【新規】	2,071千円
・宅配ボックス普及促進補助【新規】※運送の2024年問題をふまえ、再配達を減少させる。	2,182千円
・「デコ活」の普及啓発	4,969千円
家庭生活や事業活動において、デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)の普及啓発を行う。	

5 地域の魅力向上と課題解決に資する特長ある事業

◎健康医療先進都市の推進		◎文化創造都市の推進	
・「山形コホート研究」を活かした健康づくり【拡充】	406千円	・新市民会館の整備	13,008千円
山形大学によるコホート研究の成果を活用し、共同開発したアプリやシンポジウムにより健康情報を発信する。 ※コホート研究…一定期間ある集団を追跡して、病気の発生などの健康状態を調べる研究。		新市民会館の施設整備から運営までを担う事業者を決定する。	
・18歳までの外来診療費無料化【拡充】	1,238,061千円	◎健やかな子どもの育成	
◎持続可能な農業の構築		・部活動地域移行連携【拡充】	20,073千円
・そば消費額日本一プロジェクト【新規】	3,853千円	運動部・文化部を対象としたモデル事業等に取り組む。	
大都市圏でプロモーション活動を行うなど、山形そばの魅力を発信する。		◎移住・定着の促進	
・園芸作物生産基盤整備【拡充】、土地利用型高収益作物拡大【新規】	2,069千円	・移住体験ツアーの実施【拡充】	16,335千円
担い手を育成するさくらんぼトレーニングファーム整備・運営の検討や、高収益作物であるねぎ生産の先進地視察を行い、持続可能な営農の具体的な取組につなげる。		希望に応じた暮らし等を体験できるオーダーメイド型移住体験ツアーを実施する。	
・地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)の策定	2,669千円	・未来をここで。若者活躍プロジェクト【拡充】	4,598千円
10年後の農地利用の在り方を反映した目標地図を含む地域計画を策定する。		若者や女性を対象に生成AIを活用したワークショップを開催し、地元定着につなげる。	